



令和4年度 県民総ぐるみ教育推進研修会

宮崎県教育庁 義務教育課



Q

なぜ、今、コミュニティ・スクールが必要なのか？

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

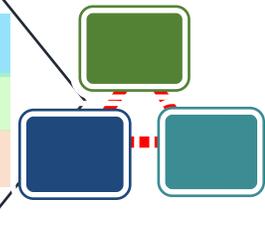
生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び



※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

社会に開かれた教育課程

社会に開かれた教育課程とは

将来、社会を担う子供たちに「求められる資質や能力（何ができるようになるか）」を明確にし、それを学校と社会（地域、保護者、企業等）が共有したうえで、お互いに連携・協働しながら、目指すべき学校教育を通じてよりよい社会を実現するという、学校教育の基本的な内容を定めた理念です。

～なぜ、今「社会に開かれた教育課程」の実現が求められるのか？～

（文部科学省HPより引用）

社会のつながりの中で学ぶことで、子供たちは、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つことができます。このことは、変化の激しい社会において、子供たちが困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力になります。そのため、これからの学校には、社会と連携・協働した教育活動を充実させることがますます求められます。

「社会に開かれた教育課程」

「社会に開かれた教育課程」の展開における要点(文科省HPより抜粋)

- “より良い学校教育を通じてより良い社会を創る”という目標をもち、**教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。**
- 子供達が、社会や世界の変化に向き合い関わり合い、**自らの人生を切り開いていくために求められる資質を育ていくこと。**
- 実施に当たり、地域の人的・物的資源などを活用するなど、学校教育を学校内に閉じず、**社会と共有・連携しながら実現させること。**

平成28年8月 中教審教育課程部会

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」より

よりよい社会を創るという目標を共有し、
教育課程そのものを社会に開いていくこと

熟議の様子

「未来に向けて自ら起動する力」
が大事だと思います。
一緒にやりましょう！！

承認のイメージは、
「OK」ではなくて、
「Let's」です。

学校長による運営方針説明

都農中生徒に
「未来を生き抜く力」
を地域（みんな）で育
ていきませんか？

「未来を生き抜く力」を一緒に
育てていただけないでしょうか？

教育長による 委員委嘱の様子

子供たちのために
よろしくお願いします！

地域

おはよう！

いって
らっしゃい！



学校



あいさつ日本一の学校



家庭

親から意識してあい
さつをするよう心がけ
なくちゃ。



Q

なぜ、今、コミュニティスクールが必要なのか？

A

子供たちが生きる未来の変化に伴い、社会に求められる人物像も変化してきたため、学校・家庭・地域が同じゴールに向かって当事者意識をもって、未来を生きる子供たちを育成していく必要性があるから。